

# 避難行動判定フロー

自らの命は自らが守るため、普段から次の避難行動判定フローで状況を確認して対策を立てておきましょう。

あなたがとるべき避難行動は？

洪水ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう

洪水ハザードマップは、浸水が想定される区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

はい

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です

例外

浸水の危険があっても次の場合は自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう危険性の高い区域の外側である
- ②浸水する深さよりも高いところにいる
- ③浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食糧などのそなえがある
- ④がけ崩れ・土石流の発生する危険性がない
- ⑤ため池などで決壊が発生する危険性がない

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう